

# 広報葉山が4年連続 最優秀賞！

## 神奈川県広報コンクール 広報紙・町村部

この度、葉山町が毎月発行する『広報葉山』の12月号（令和3年12月1日発行）が、「神奈川県広報コンクール」で最優秀賞に選ばれました（**近年8年間で7回目**）。当該広報紙は、公共社団法人日本広報協会が主催する「全国広報コンクール」に推薦されます。また、同じく1月号（令和3年1月1日発行）の表紙写真が広報写真（一枚写真）の部で優秀賞3席に選ばれました。表彰式はありませんが、後日賞状が贈られます。

問合せ 政策課 河野（内線332）



### ◆ 入選した広報葉山12月号の概要

「みんながってみんないい」という有名な詞の一節があるように、人との違いを理解してお互いを尊重する社会は理想的な形です。しかし実際の社会には多数派が優先される場面も多く、自分らしく生きづらいつと感じている人がいます。少数派の中には、生きる上で何らかの障害がある人、目に見えづらい特性を持つ「発達障害」と診断された人などがいて、日々生きるのに様々な努力をしています。

12月号の特集記事では、人との違いを「らしさ」に変えて「自分らしく生きる」をテーマに、それを支える町の人や取り組みについて紹介しました。本来人との違いは、自分にしかできない役割を見出すきっかけであり、とても素敵なことです。そのことを実感し、少しでも生きやすくなる行動をするために、チェックリストなどで自分を知ることを通じ、自分事として捉えながら、考えやすい内容にしました。

### ◆ 県広報コンクールでの講評

「生きづらさを抱えた人たち」「発達障害」――実に今日的で重いテーマを、明るく、詳細に取り上げて圧巻。「あなたらしい生き方で」始まり、「自分を知ることからはじめよう！」ではチェックリストも用意。専門家の助言なども丁寧に取材しており、町の受け入れ態勢も紹介しています。子育てに悩む保護者にとって、安心して暮らせる街であることが伝わってきます。レイアウトや見やすさ、写真の配置なども丁寧に作られており、読み易い工夫が随所に。葉山町は毎回ハイレベルですが、今回は突出しているように思えます。発達障害には、さまざまな症例があると聞きますが、悩んでいる人がこの特集を好機に、新しい人生を踏み出せるかもしれません。

インクルーシブ教育にも言及し、手をさしのべる取り組みがあることを教えてくださいますが、インクルーシブの原語、原義、教育上の概念をそれぞれに併記するとより良かったのではと感じました。

